

スペシャルツアー

千歳観光連盟が主催する、空港にまつわるお仕事を体験できる市民限定ツアーです。(株) JAL スカイ札幌と日本航空大学校北海道の協力で、新千歳空港見学やCAのサービス体験、空港特殊車両の見学など、普段はできない特別な体験をお届けしています。



祝梅小5年 高田ここみさん
たかだ
グラハムスタッフは正確な作業、CAさんは丁寧な対応。旅客が快適に過ごせるよう、空港で働いている人が頑張っていることを、みんなに伝えたいです。



大迫力のランプエリア
カウンター、器材庫、ランプエリアを見学しながら空港のお仕事を学びました。ランプエリアでは飛行機のすぐ近くまで行くことができ、その迫力を肌で感じられます。パイロットがこちらに手を振ってくれる場面も。

器材庫で見た大きなタイヤ
身長ほどもある飛行機のタイヤ。「近くで見るとすごく大きく思えた」とそのサイズを実感。



株式会社 JAL スカイ札幌
あおき あゆみ
青木 歩美さん



青木さんが飛行機に初めて乗ったのは中学生のとき。「こんな素敵な仕事があるんだ」と強く印象に残り、航空業界を志すきっかけになったといいます。

空港を好きになってほしい、航空業界に興味を持ってほしいとの思いで実施しました。空港見学は、駐機している飛行機の種類や到着・出発状況が毎日異なるため、「今日はどんな体験ができるのか?」というワクワク感を得られます。現場で働く私たちの表情を見ることができるのも、面白いポイントです。

空港特殊車両の展示・乗車体験

トレーシングカー、ハイリフトローダーなど日本航空大学校北海道が誇る空港特殊車両を数多く展示し、乗車体験も可。現場経験のある先生による解説付き。



アナウンス体験
学生さんに巻き方を教えてもらったスカーフを身につけ、準備はOK。緊張しながらも、全員立派にアナウンスできました。

北陽小6年 吉田奈央さん
よした なお
CAになるのが幼稚園の頃からの夢。ツアーに参加して、CAのお仕事をたくさん知ることができました。英語をもっと勉強して、夢を叶えたいです!



初めてのアナウンス
「言葉と言葉の間隔を空けて、落ち着いてゆっくりとアナウンスできた」と振り返りました。



今回のお客様は小さなお子様。言葉遣いなど、お子様に寄り添うような工夫をしました。喜んでくれる姿を見られてうれしく思います。今日の体験で少しでも航空業界に興味を持ってくれたら、私たちと一緒に「夢」を「目標」にするためにがんばりましょう!

日本航空大学校北海道
学生さんより



案内人は空港のプロ!

空港に関わるプロフェッショナルがそろう日本航空大学校北海道。子どもたちに、リアリティと臨場感あふれるお仕事体験を提供します。

4 作目は初の現代劇

2020年1月にスタートした市民ミュージカル。第4回公演の今作は、大雪で閉鎖された空港が舞台の現代劇です。混乱の空港で、3姉妹と母親が事態を収束させようと奮闘します。



公演終了後の1コマ。主人公の西脇家を演じた4人。右から小池さん、森山さん、小笠原さん、柴崎さん。

三女
西脇 ひなた 役
もりやま あいり
森山 愛梨さん



仕事も年齢もバラバラな人達が集まって、一つの作品をつくりあげるといことが、どれだけ大変で達成感があるかを、終演してから改めて感じました。バラバラだからこそ「普通」がみんな違うので、色々な話を聞くことができ楽しかったです。もっと一緒にいたいと思いました!

奮闘する3姉妹の姿が、母の心を動かす

娘たちに「普通」の人生を歩ませたい母と、我が道を行く3姉妹が繰り広げる、西脇家のいつもの朝。しかし、混乱の空港で自らを助けて奮闘する娘たちの姿を見て、母・真理子の心境にも少しずつ変化が。夜が明けた空港では、西脇家にこれまでと違う「それぞれの朝」が訪れます。最後はスタッフも旅客もみんな集まって合唱。「歌えばすべてうまくいく」を表すラストシーンです。

2年後の空港開港100年 舞台は千歳市、主役は市民

本記事で紹介する2つの演劇は、空港のまち千歳で生きる人々の物語。演じる人も見る人も、舞台を通して空港のこと、まちのことを深く知るきっかけに。そして2年後に迎える空港開港100年。それまでの間に、この千歳市ではどんな物語が生まれているのでしょうか。主役は私たち市民です。

全員集合のフィナーレ

最後は4年生全員で、大空への憧れと明日への希望を歌った名曲「Tomorrow」を合唱しました。ラストに空港開港100年記念ロゴマークも登場。



劇「新千歳空港物語」

酒井憲次郎は真面目で一生意気な、熱い人だったと聞いて、私も熱く演じたいと思いました。約100年前に着陸場をつくった千歳村の人々のように、みんなが一致団結してこの日のために努力してきたので、良い劇ができたと思います!



新千歳空港の歴史を描いた本格的な演劇!

みどり台小学校の学習発表会上演された、4年生による歴史劇。手づくりの着陸場が新千歳空港へと発展していく様子を描いています。千歳村民の着陸場造成と「北海」第1号の飛来はもちろん、海軍航空基地の建設や戦後にあった丘珠飛行場との民間航空誘致合戦など、現代の新千歳空港になるまでの重要な分岐点を盛り込んだ本格的なストーリーが特徴です。

操縦士
酒井 憲次郎 役
くにしま あかね
國島 朱音さん



千歳市空港開港100年まで、あと2年

こんなこと、やっています